

項目	観点	教科書名
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	○衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるようにするために、どのように配慮されているか。	新しい家庭5・6(2・東書) ・各題材に活動内容を明確に位置付け、実践的・体験的に学べるようにしている。(目次)「我が家にズームイン」(P6~7)や「めざそう 買い物名人」(P38)などでは、自分の家庭生活を振り返る場面を設け、課題意識をもって、主体的に学べるような内容になっている。
	○家庭生活を大切にしている心情を育み、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てるために、どのように配慮されているか。	・「わが家にズームイン！」では、家庭生活、家族、家庭の仕事を見つめている。(P6,7)さらに、家庭生活を工夫しようで、実践的な態度を育てている。「自由研究」のコーナーで、家庭での実践のアドバイスをしている。(P25,P51,P81,101)「これだけではできるようになろう」というコーナーでは、実践を通して身に付けるべき力を自己評価できるように工夫されている。
2 内容の程度及び取り扱いについて	<基礎・基本の定着のための工夫> ○実践的・体験的な活動を通して、知識及び技能を身に付けるために、どのような工夫が見られるか。	・「いつも確かめよう」のコーナーで、基礎的な技能を確認できるようにしている。(P10, P13, P15...)巻末には、拡大版が掲載され、分かりやすい。全ての題材が3ステップで構成され、学習のめあてが示されており、問題解決的な学習が進められるようになっている。
	<関心・意欲を高め・主体的な学習活動を促すための工夫> ○自分の成長を自覚し、衣食住を中心とした家庭生活への関心を高めるために、どのような工夫が見られるか。	・各題材ともに自分を見つめることからスタートし、最後は生活に生かすことを目指しているため興味・関心が高まる。巻末「これからの私たち」を活用することで、成長を実感したり、意欲が高まったりすることが期待できる。
	<個に応じた指導のための工夫> ○目的を持って生活を見つめ、生活をよりよくしようと工夫する能力や、生活において実践しようとする態度を高めるために、どのような工夫が見られるか。	・各題材の学習のめあてが「1見つけよう、2計画しよう・活動しよう、3生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」となっており、自分の生活を見つめることから始まり、活動し、生活に生かし、次の課題を見つける問題解決的な学習となっているため実践に結びつきやすい。(P6,P12,P18...)小題材ごとに「振り返ろう」や長期の休み前に当たる題材には「自由研究」があり、実際の家庭生活で実践していこうとする態度が高まるような工夫がされている。
3 構成・配列・分量	○各学年のねらいや発達の段階からみて、題材の構成・配列・分量には、どのような特色があるか。	・前半は、「できることを増やしていこう」後半は、「力を高め、周りも笑顔にしよう」というテーマで題材配列がなされている。
	○内容の配列及び分量には、どのような特色があるか。	・中心になる内容を掲載後、参考内容を掲載している。(P14~17)
4 表記・表現	○タイトルや目次の示し方、マーク、キャラクター、吹き出しについて、どのような工夫が見られるか。	・2年間を見通した、ストーリー性のある構成と題材になっている。表紙からガイダンスがはじまり、2年間で学習する題材の構成・配列が分かる。(P1,2)
	○文章、図表、写真の大きさ等について、どのような工夫が見られるか。	・基礎的なものから応用的なものになるよう段階を踏んだ配列となっている。(P12~17)
5 体裁・使用上の便宜	○文章、図表、写真の大きさ等について、どのような工夫が見られるか。	・マークが厳選されており、分かりやすい。キャラクターの吹き出しの言葉が、興味・関心や意欲をわかせるものとなっている。(P9,10,14,15...)
	文字の大きさ、書体、表紙などの体裁については、どのように配慮されているか。	・各題材のトップの写真が内容を表すものとなっており、興味・関心を高める。写真が児童側からの目線で示されており、見やすい。さらに、児童がつまずきやすいところは、絵や写真で拡大表示されている。
		・作業の手順の表記を全体で統一してあり、見やすく分かりやすい。家庭生活をテーマにした「生活を見つめる」表紙となっている。